

観光最前線 観光のいろんなカタチ



枕崎市グリーンツーリズム協議会

山崎巴代治 会長

体験するとまた来なくなる

■体験型観光のいいところは、その地域を知ってもらい、好きになり、さらにその人が別の人を呼んでくることです。ここで大切なのがリピーターを多く確保すること。

季節ごとのメニューを開発し、参加者が何回来てもあきないような工夫が必要です。そのためにも、いろんな団体が交流し、情報交換・協力しあうことが大切になってくると思います。それと、もっと枕崎の特産品を自慢してください。水産物にしても農産物にしても日本一のものや自慢できるものがたくさんあります。これからは、自慢できるものをもっと売り込む努力が必要です。

食

枕崎名物料理はまらん海

久保昭男 会長

食にある“ものがたり”

■枕崎の代表的な料理に『鹿籠豚料理』があります。この味を堪能しに日本中から多くの方が訪れます。料理を提供する側から一番大切なこと、それは、すばらしい食材をつくる生産者がいることです。いいものを使えばお客さんは喜んでくれます。しかし、美味しいものならどこでも食べられる時代です。そこで“ものがたり”を加えたらどうでしょう。さまざまな苦難を乗り越え伝承されてきた伝説の黒豚『鹿籠豚』を発祥の地で口にします。そこにロマンを感じることでしよう。このように今後は付加価値をどのように付けるかがカギになってくると思います。



枕崎青年会議所（JＣ）

神園健 理事長

人が人をひきつける

■枕崎の魅力の一つは“人”だと思います。その典型的なものが『きばらん海』です。市民みんなで創り上げるこの祭りには、毎年10万人を超える観光客が訪れます。この祭りで枕崎の人の“熱く温かい人情”を感じると人も多いのではないのでしょうか。JＣが昨年開催したバスツアー『枕崎大好きツアー』でも、市民のたくさんの方にツアー客への“おもてなし”をしてもらい大変好評でした。聞いた話によると、参加した一人は『枕崎いいところだよ』と数人を引き連れて再び訪れたというのです。このように、人が人をひきつける。そんなまちなのかもしれません。

IT

なんさつONLINE

田中公郎 代表

インターネットを活用しよう

■現在、ブログやホームページで枕崎のいろんな情報が発信されていますが、観光客向けに特化したサイトが欲しいですね。また、最近利用者が増えてきているスマートフォン（パソコンのような高度な機能の付いた携帯電話）で、GPS位置情報を利用した観光案内も若者には効果的だと思います。日本でのインターネットの普及率が70%を超えている今、ネット検索して出てくる観光地やお店と、出てこないそれとでは大きな差が出ます。慣れてくれば簡単で安上がりのインターネットをフル活用すべきだと思います。



主な施設の観光入り込み客数とイベントの集客集数 単位：万人

平成20年 主な施設	
地場センター	8.1
お魚センター	36
かつお公社	5.2
明治蔵	5.6
平成21年 主なイベント	
かつおまつり	5
港まつり	13
いっさいがっ祭	2.5

※市観光統計を参照
※主なイベントは市内各所含む

課題は安定的な観光客の確保
本市の観光入り込み客数（市外からの観光客数）は、平成10年の92万人（うち宿泊客数2・8万人）をピークに減少して2・平成20年は58万人（うち宿泊客数2・6万人）でした。

これは、大型バスでの社員旅行・観光ツアーの減少など景気に影響されていますが、枕崎の良さや特色を生かせず、PRが十分でないことも原因とみられています。市観光協会が実施している観光キャラバンや観光光ポラントニアガイドによるおもてなしなど観光客誘致に力を入れています。年間を通して安定的な観光客を集め地域経済を活性化させるといふ面では、あと一歩足りず、隣接の観光発展市の宿泊観光客の単なる通過点と

注目される体験型観光
このような中、近年注目を集めているのが、都市部の住民が主に参加する体験型観光です。これは、地域の特色ある資源を生かし、各団体が協力・連携し観光客をもてなすものです。

1月23日、NPO法人エコーリンク・アソシエーション主催の南薩を周遊する体験型ツアー『エコーツアー』が行われ、鹿児島市などから14名の参加がありました。本市では、市グリーン・ツーリズム協議会山崎巴代治会長の案内で、ばんかんなどの果物狩りをしたあと、木口屋集落にある

NPO法人子育てふれあいグループ自然花の建物へ移動。古民家を改装した風情のある建物内でパッションフルーツジュースを作る体験をしました。参加者のほとんどが「また訪れたい」と満足した様子で枕崎をあとにしました。

本市の体験型観光ではこのほかにも、市グリーン・ツーリズム協議会が行っている都会の修学旅行生を民家で受け入れて宿泊・自然体験をさせるものなどが活発に行われ始めています。

展していく可能性を秘めています。一体となった『観光枕崎』PRを豊かな食、日本最南端終着駅また、なによりも市民のおもてなしの心など魅力あるたくさん地域資源を有している枕崎市・市観光協会を中心に行政・市民・企業や関係団体などが一体となり、新しい観光の開発や促進を図っていく必要があります。

平成23年春には九州新幹線が全線開業され、全国緑化フェアも本県で開催されます。県も様々なイベントを計画しており、地方にとっては観光振興の追い風になることが期待されます。

本市観光の現状と新しい可能性

課題は安定的な観光客の確保



② オープニングセレモニーに合わせてラッピング列車『カツオ号』が運行。関係者は揺れる列車を楽しんでいました。



① 火の神太鼓の演奏で始まった枕崎駅前観光案内所のオープニングセレモニーでは大勢の人たちが完成を祝いました。③市グリーン・ツーリズム協議会の山崎巴代治会長がエコツアーで訪れた観光客にドラゴンフルーツを手に説明。参加者は熱心に聞き入っていました。

考えよう！枕崎の観光

華やかなオープンとなった枕崎駅前観光案内所。今後、本市観光産業の拠点として期待されています。では、本市観光の現状はどのようなのでしょうか。経済状況や観光客の価値観が変わってきた現在、一昔前とは観光の形態も変わりつつあります。各分野の観光に携る方々のインタビューを交え、今後の展望について考えていきます。

観光産業の拠点として期待される駅前観光案内所

ドンドンドンドン：力強い火の神太鼓の演奏が鳴り響く。12月26日、枕崎駅前観光案内所のオープニングセレモニーが行われ、多くの関係者が集まり完成を祝いました。平成18年に当時の駅舎を解体して以来、最南端の始発・終着駅としてどのように観光客らをもてなすかなどが課題となっていました。そんな中で完成に参加者からは期待の声が上がっていました。

市と市観光協会では、この観光案内所を本市観光産業の拠点にと考えていることから、二人の案内所職員（写真右下）を雇用し365日、職員が情報の収集や発信、観光案内などの業務を行っています。

ユニークな愛称が決定
この案内所には、公募により選ばれた愛称があり、建物上部にプレートが付けられています。市役所側から見ると『最南端始発駅』、駅側から見ると『最南端終着駅』というものです。この愛称は、東京枕崎会の会員であり、現在横浜市在住の白澤武彦さんが応募したものです。

interview

市観光協会 揚野卓郎 会長



枕崎のことをもっと知ってほしいそれが観光産業の発展につながる

■枕崎にはいい素材がいっぱいあります。世界的な漁港、南浜館、枕崎茶など出せば切りがありません。オルゴールの編曲者として有名な田代和夫さん生誕の地でもあります。オルゴールを利用したまちづくりもいいかもしれません。例えばJRの出発・到着の合図に使ってもらうとか、観光案内所で流すとか、商店街を歩いていると流れているとか。しかし、やはり一番はおもてなしの心です。枕崎の人たちの心は温かい。これは財産です。地元のことをよく知ってもらいたい。知れば知るほど自分のまちが好きになる。それが観光産業の発展にもつながっていくと思います。

ラッピング列車『カツオ号』も祝福に
当日はJRの協力で、ラッピング列車『カツオ号』が運行しました。保育園の園児や家族連れの客ら約1400人を乗せた列車は西穎娃駅まで楽しい旅を提供してくれました。

突然ですが、JR指宿枕崎線に何回利用しますか？実は一度も利用しないという人も多いのではないのでしょうか。

最近、ローカル線の旅がはやっています。最南端始発駅からゆつくり、のんびりと旅するのでもいいかもしれません。

案内所職員紹介

まつおひめこ 松尾 一女子さん（右）
片山公園から枕崎を眺めるのが好きです。活気あるまちになるよう少しでも役立ってほしいです。

にわやまひさこ 庭山 久子さん（左）
14年前まで東京に20年程いた私にとって枕崎は大切なふるさと。観光客にいい思い出を持って帰ってほしいです。

※毎日午前8時30分～午後5時15分まで一人が業務をしています。

